

ナブッコのききどころみどころ!!



芸術監督・指揮 園田 隆一郎
ナブッコもアビガイッレ、どちらもこの物語にとって、主軸になって、どちらも主役だと思います。ザッカリアもある意味主役であると思います。たくさんの重要な強い登場人物が出て来るこのドラマを、是非楽しみにしていただきたいと思います。



演出家 岩田 達宗
舞台は、場面によってイメージしたものをセットにしています。アビガイッレの怒りや憎しみの中にある、自分は愛されないという悲しみを表現したセットなど、それも楽しみのひとつかと思えます。

このオペラ「ナブッコ」は、父と娘の愛の物語、イズマエーレとフェネーナの愛の物語であります。しかしながら、ただの愛の物語だけではなく、ヴェルディがこの曲を作曲した時代は、若者が人生をささげてイタリアという国を造り上げた時代と重なっています。みな故郷を想う。それは戦争をなくし、世界平和を願うということです。この曲は、音楽の力によって世界が平和になることの祈りを込めた曲です。これからもずっと演奏され続けていく曲だと思います。未来につなげていくというコンセプトで上演しようと思っています。



アビガイッレ役 中村 真紀 ソプラノ（出演日：2/27・3/6）
アビガイッレは、無償の愛に飢えていた人だったのではないかと考えています。恐らく皆様は、野心的で強い女性だと思っていられると思います。そのとおりなのですが一方で、隠すべき感情を内に秘めることなく表に出してしまうといういつて不器用な女性であると思います。起伏が激しい彼女の最期の、その絶望みたいなものを物語の中で聴いていただけたらすごく面白いのではないかと思います。



アビガイッレ役 小林 厚子 ソプラノ（出演日：2/26・3/5）
いつも怒りを抱えているアビガイッレ…その裏側にある彼女の深い哀しみ、切なさ、やるせなさというものを感じています。
※1 アリアの※2 カヴァティーナや、彼女が最期に歌う数ページはとても美しい旋律に溢れていて、アビガイッレの繊細な部分を紡ぐことが出来ればと思っています。



ナブッコ役 須藤 慎吾 バリトン（出演日：2/27・3/6）
ナブッコは、紀元前の素晴らしい王だったようです。ヴェルディの描いている音楽が、そこに流れる彼の気持ちや彼のその時の気持ちの変化を表していると思います。このオペラ「ナブッコ」は、一人の男が王位から突然転落し、娘も奪われて奴隷と言われ、でも自分を取り戻すという再生の物語であります。そういったところを是非、楽しんでいただければと思います。



ナブッコ役 今井 俊輔 バリトン（出演日：2/26・3/5）
ナブッコとしては全部聞いてほしいです。僕の中でのナブッコ役は、ヴェルディバリトン原型を感じます。すべての基本、最初のものになっているのだと思っています。ナブッコは感情の多面性があるので、顔の使い分けをすることが難しいと思っています。

※1 アリア………オペラでソロ独唱者にとって聞かせどころとなる曲
※2 カヴァティーナ………素朴な旋律をもつ抒情的な歌曲

2020年11月14日 藤沢市民オペラ・ブレイク公演『スペシャル・ガラ・コンサート〜行け、わが想いよ、黄金の翼に乗って〜』から

オペラ歌手の声域

高い
低い
女声
男声
ソプラノ・・・女性の主役を演じることが多い。
メゾソプラノ・・・主役のライバルなど、少年の役を演じることがある。
アルト・・・女性の最低音域。役どころはあまりない。
テノール・・・男性の主役を演じることが多い。
バリトン・・・主役のライバル、親友など。主役もある。
バス・・・男性の最低音域。賢者や悪魔の役などが多い。



わあ〜

来年の藤沢市民オペラ「ナブッコ」はね!



藤沢市民オペラ制作委員会 制作

第24回 藤沢市民オペラ 園田隆一郎芸術監督2018-2021シーズン

G.ヴェルディ『ナブッコ』全4幕

シカゴ大学による批判校訂版
イタリア語上演・日本語字幕付

2022年2月26日(土)・27日(日)、3月5日(土)・6日(日)
各公演とも 14:00開演(開場13:15)

会場 藤沢市民会館大ホール 〒251-0026 神奈川県藤沢市鶴沼東8番1号

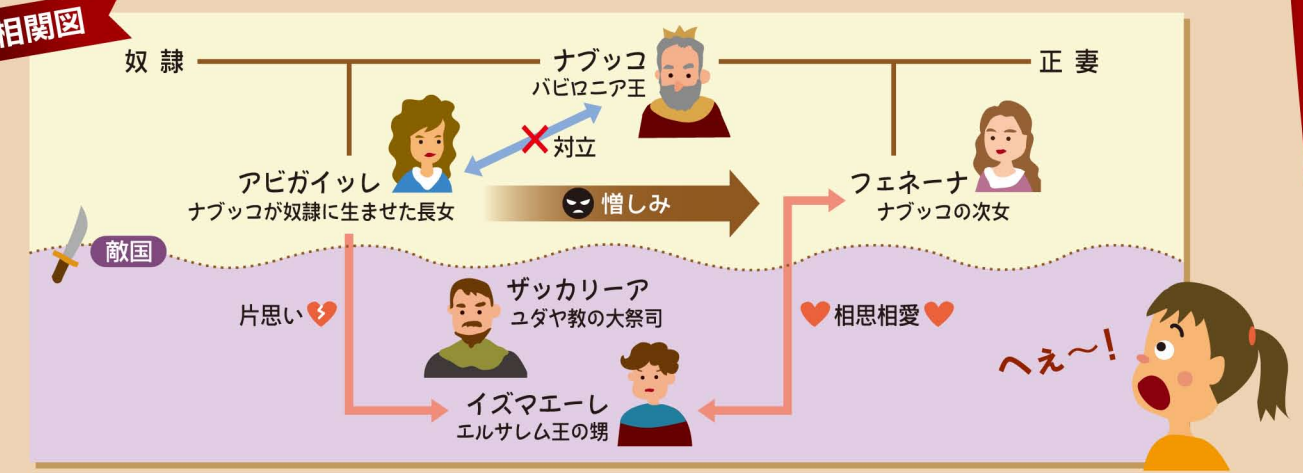
入場料金 S席 8,000円 A席 6,000円 B席 4,000円 C席 3,000円 D席 2,000円
U-25 500円(A~Dを対象) ※C・Dは2階席

発売日 10月8日(金)午前10時

チケット取扱 藤沢市みらい創造財団オンラインチケットサービス・Famiポート 他

主催 公益財団法人 藤沢市みらい創造財団 **共催** 藤沢市・藤沢市教育委員会

関連図



Story 物語

第1部 時は紀元前6世紀、旧約聖書の時代。バビロニア王ナブッコとアビガイッレに率いられた軍勢が、エルサレムを攻め落とそうとしていました。エルサレムの大祭司のザッカリアは、ナブッコの次女フェネーナを人質にし、剣をつきつけますが、味方のはずのイズマエーレに邪魔されます。イズマエーレは、敵国のフェネーナを密かに愛しており、助けたのでした。ナブッコは、神殿に火を放ち、ユダヤ人を捕虜として連れて帰りました。

第2部 ある日、アビガイッレは長女の自分ではなくフェネーナに王位を譲ろうとしていることを知り、野心を抱きます。ナブッコは、フェネーナが愛するイズマエーレのためにユダヤ教に改宗し、ユダヤ人として生きることを知ります。怒ったナブッコは、「私はユダヤの王であり神なのだ」と叫ぶと、天罰としてカミナリに打たれます。

第3部 ナブッコが倒れている隙に、野心を燃やすアビガイッレが王位につき、捕虜となっているエルサレムの民とフェネーナを処刑しようと企てます。エルサレムの民が故郷を想い「行け、わが想いよ、黄金の翼に乗って」を歌います。

第4部 正気を取り戻したナブッコはユダヤの神に許しを請い、ユダヤ人とフェネーナを解放します。ナブッコはユダヤの神に仕える王として讃えられました。すべての野望を打ち砕かれたアビガイッレは…。

※1 捕虜(ほりよ)………戦争において敵に捕らわれた者
※2 改宗(かいしゅう)………信仰(信じる)していた宗教を変えること

